

『実習日誌の書き方について』

「実習日誌（ファイル）」の記述内容の変化は、まさに実習を経験して得られた自分自身の成長の証です。
毎日の「実習日誌」が貴重な成長記録となりますので、丁寧に記述していきましょう！

Ⅰ．書式について（具体例）

○月△日（月）

名前（ ）

学習場面	児童生徒の姿	指導者の手だて及び考察
朝の会	・・・・・・・・・・・・・・・・	・・・・・・・・・・・・・・・・
屋外作業 ・竹を切る	・竹を切る場面で、山田くんは、のこぎりを持っていたが、すぐに切り始める様子は見られなかった。しかし、A先生の「どこを切ったらいいかな？」という言葉かけを聞き、周りの友だちの動きを見て、竹を切り始めた。 ・切り口をよく見て、切り終わるまで懸命にのこぎりを動かし続けていた。切り終わると、とても満足そうな表情をして、先生と力強くハイタッチをしていた。	（指導者の手だて） ・A先生は、最初、山田君の様子を見守った後、言葉をかけた。山田君が線の上を切り始めたのを見て、「そう、そこだよ！」「やったあ！切れたね！」と笑顔で山田君にハイタッチをしにいった。 ・竹を見ると、切る部分にマジックであらかじめ印がされていた。同じ作業をする生徒を向かい合わせにしていた。 （考察） ・A先生は線を引くという手掛かりと場設定をした上で、山田君はどう動くのかを見ていたのだと考えられる。次の手掛かりとして言葉かけをした。それによって山田くんは竹を切り始めたのだと考えた。竹はこれまでの授業で何度も切ったことがあると聞いている。することが分かれると山田君は活動に集中することができるのだと思った。
給食	・・・・・・・・・・・・・・・・	・・・・・・・・・・・・・・・・
終わりの会	・・・・・・・・・・・・・・・・	・・・・・・・・・・・・・・・・
（一日のまとめ） 新たな発見、教材研究で分かったこと、改善点（反省）、次の目標 など		

2. 記述する内容について

学習場面の欄には・・	児童生徒の姿の欄には・・・	指導者の手だて及び考察の欄には・・・
登校から下校まで、一日の学習場面を観察する。	○児童生徒の姿 ・「知識及び技能」 気づく、できる、分かる等の姿 ・「思考力、判断力、表現力等」 工夫する、試す、考える等の姿 ・「学びに向かう力、人間性等」 がんばる、粘り強く取組む等の姿 ○もの、ひと、こととのかかわり方 ・身体の使い方、姿勢等も含む	(指導者の手だて) ・児童生徒の捉え方 ・児童・生徒への接し方(提示、評価) ・全体指導と個々への指導の工夫 ・教材教具の工夫 ・場の設定 ・チームティーチング等 (考察) ・児童生徒の姿や指導者の手立てを観察し、自分なりに考察したことを必ず記述する。

3. その他

- ・「実習日誌ファイル」(2穴ファイル)に綴じる。
- ・毎朝「健康観察カード」と共に提出し、1日の終わりに受け取って退勤する。
- ・児童生徒名が記載されているので、取り扱いに注意する。
- ・プリンタは大学または手持ちのもので行うこと。コンビニなど、不特定多数の人が利用するプリンタは使わないこと。
- ・書き方で迷ったときには、実習生同士で見合ったり、学部の先生に尋ねたりして解決する。